

## 安全データシート (SDS)

作成 2023年9月20日

## 1.【化学物質等及び会社情報】

製品	製品の名称	アルタン濃縮消臭剤
供給者情報	会社名	アルタン株式会社
	住所	東京都大田区東糞谷3-11-10 マーケティング室 開発企画課
	電話番号	03-3743-5705
	FAX番号	03-3743-5706
	緊急連絡先	同上

## 2.【危険有害性の要約】

GHS分類		
健康に対する有害性	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期(急性)	区分3

(注) 物理化学的危険性、健康に対する有害性、環境に対する有害性に関し、上記以外の項目は、現時点で「分類できない」又は「区分に該当しない」である。

絵表示又はシンボル



注意喚起語 警告

危険有害性情報

強い眼刺激  
水生生物に有害

注意書き 【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。  
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
取り扱い後は手をよく洗うこと。  
環境への放出を避けること。  
保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。

【救急処置】

皮膚に付着した場合	取り扱った後、手を洗うこと。 皮膚刺激又は発しんが生じた場合は医師の診断を受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぎ、気分が悪い時は医師の診断を受けること。
吸入した場合	空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は医師の診察を受けること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外すこと。その後も洗浄を続けること。
目の刺激が持続する場合	医師の診断、手当を受けること。

【保管】

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。  
涼しいところに置くこと。

【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

国/地域情報

国内法で規定のある場合、並びに、地域で規定のある場合はその規定に従う。

## 3.【組成・成分情報】

単一製品・混合物の区別 混合物

## 成分及び含有量

化学名	含有量(wt%)	CAS No.	化審法番号	労働安全衛生法
植物性精油	非公開	非公開	非公開	通知対象外物質
レモン合成香料	非公開	非公開	非公開	通知対象外物質
水	非公開	-	-	通知対象外物質

## 4.【応急処置】

- 目に入った場合 ただちに水で15分以上洗い流すこと。コンタクトレンズは外すこと。  
その後、ただちに医師の診察を受けること。
- 皮膚に付着した場合 多量の水と石鹼で優しく洗うこと。  
皮膚刺激が生じた場合は医師の診察を受けること。
- 吸入した場合 空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
気分が悪い場合は医師の診察を受けること。
- 飲み込んだ場合 ただちに水でよく口の中を洗浄した後、コップ数杯の水を飲ませる。  
ただちに医師の診察を受けること。
- その他 ただし、意識がない場合は、口から何も与えてはならない。  
使用中、眼に異状を感じたり、せき込んだり、気分が悪くなった時は、  
ただちに使用を止めてその場から離れ、洗眼、うがいをする事。  
その後、ただちに医師の診察を受けること。
- いずれの場合も、医師への診察時には、製品または安全データシートを持参こと。

## 5.【火災時の措置】

- 消火剤 粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水  
使ってはならない消火剤 情報なし
- 火災時の特有の危険有害性 有害性ガスを放出することがある。  
煙を吸入しないこと。
- 消火方法 周辺火災の場合はすみやかに安全な場所へ移す。  
移動ができない場合は、風上より容器周辺に散水して冷却する。
- 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防装置 消火作業では、適切な保護具を着用する。

## 6.【漏出時の措置】

- 人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置  
適切な保護具(保護メガネ、ゴム手袋、ゴム長靴、保護衣、保護マスク等)の  
保護具を着用する。  
漏出した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。
- 環境に対する注意事項  
環境への放出を避けること。  
下水道や公共用水域への侵入を防ぐ。
- 封じ込めおよび浄化の方法および機材  
漏出したものをすくいとり、又は掃き集めて紙袋又はドラム等に回収する。
- 二次災害の防止策  
付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。  
こぼれた製品の上を歩く際は注意する。  
火花の出ない工具を使用する。

## 7.【取り扱い及び保管上の注意】

- 取扱い  
技術的対策  
取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。  
作業場の換気を十分に行う。保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用。
- 安全取扱注意事項  
取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。
- 保管  
安全な保管条件  
屋内の通気のよい場所で容器を密閉して保管する。  
安全な容器包装材料  
製品使用の容器に準ずる。

## 8.【ばく露防止及び保護措置】

- 管理濃度 設定なし

許容濃度	設定なし
設備対策	取扱い場所の近くに洗眼、身体洗浄のための設備を設ける。 蒸気、ヒューム、ミストまたは粉塵が発生する場合は、局所排気装置を設置する。
保護具	呼吸器の保護 必要に応じて防塵マスクを着用する。 手の保護 不浸透性(耐薬品、耐油)保護手袋 眼の保護 保護眼鏡 皮膚・身体の保護 長袖作業衣、安全靴など。

## 9.【物理的及び化学的性質】

物理状態	液体
色	淡緑色
臭い	固有臭
融点	データなし
沸点	データなし
可燃性	データなし
爆発限界	データなし
引火点	なし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	約6.0(原液、25°C)
動粘性率	データなし
溶解度	水溶性
n-オクタノール/ 水分配係数	データなし
蒸気圧	データなし
密度	約1.0g/cm <sup>3</sup> (20°C)
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

## 10.【安定性及び反応性】

反応性	情報なし
化学的安定性	通常取り扱い条件においては安定。
危険有害反応可能性	通常取り扱い条件においては安定。
避けるべき条件	高温/多湿を避けて保管する。
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	情報なし

## 11.【有害性情報】

急性毒性	
経口	分類できない。
経皮	分類できない。
吸入(蒸気)	分類できない。
吸入(ミスト)	分類できない。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	分類できない。
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分2
呼吸器感作性または皮膚感作性	分類できない。
生殖細胞変異原性	分類できない。
発がん性	分類できない。
生殖毒性	分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	分類できない。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない。

誤えん有害性 分類できない。  
 誤えん有害性 分類できない。

## 12.【環境影響情報】

水性環境有害性  
 急性 区分3  
 慢性 分類できない。  
 オゾン層への有害性 分類できない。  
 残留性・分解性 データなし  
 生体蓄積性 データなし  
 土壤中の移動性 データなし

## 13.【廃棄上の注意】

残余廃棄物  
 下水道以外の河川等、公共水域への排出は絶対に避ける。  
 廃棄処理をするときは適切な保護具を着用する。  
 関連法規ならびに地方自治体の基準に従い適正に処理する。必要に応じて、都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者にて委託処理をする。  
 汚染容器および包装  
 関連法規ならびに地方自治体の基準に従い適正に処理する。必要に応じて、都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者にて委託処理をする。

## 14.【輸送上の注意】

国連分類 該当しない  
 国連番号 該当しない  
 海洋汚染物質 該当しない  
 国内規制  
 航空輸送 航空法の規制に従う  
 海上輸送 船舶安全法の規定に従う  
 陸上輸送 消防法、労働安全衛生法等の規制に従う  
 輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策  
 輸送前に容器の破損、腐食、漏れなどがないことを確認する。  
 荷役作業は丁寧に扱い、容器を破損しないように取り扱う。  
 転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。  
 直射日光、高温を避ける。  
 横積み厳禁。

## 15.【適用法令】

労働安全衛生法	通知対象物	非該当
	表示物質	非該当
	有機則	非該当
	特化則	非該当
毒物及び劇物取締法		非該当
化学物質管理促進法(PRTR法)		非該当
消防法		非該当

## 16.【その他の情報】

記載内容の問い合わせ先  
 アルタン株式会社  
 住所 東京都大田区東糀谷3-11-10  
 担当部門 マーケティング室  
 電話番号 03-3743-5705  
 FAX番号 03-3743-5706

改訂履歴  
 作成 2023年9月13日

注意

- ・この情報は新しい知見及び試験等により改正されることがあります。
- ・記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。
- ・注意事項は通常の取扱いを対象としたものですが、特別な取扱いをする場合には、新たな用途、用法に適した安全対策を講じた上で実施してください。
- ・すべての化学品には未知の有害性があり得るため、取扱いには細心の注意が必要です。
- ・ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定してください。